

★本誌は“企業は人なり”の考えの元に会社の業績向上にお役立ていただきたいと願い発行しています。



当事務所のホームページにも
情報を公開しています！

知っ得！人事労務トピックス

「まだ間に合う。年休取得義務への対応」

働き方改革関連法の施行がいよいよ今月(4月1日)より始まります。経営者の方とお話しをしていると、理解し対策を考えておられるところと、そうでないところが両極端であります。

そこで、まだ間に合うと題して、年次有給休暇取得義務への対応について、おさらいしておきたいと思います。

●対象者(改正労基法第39条より)

- ① 有給休暇の日数が10労働日以上である労働者であり、
- ② そのうち5日について、基準日から1年以内の期間に
- ③ 労働者ごとに時季を定めて与えること

●ポイント

- ① パートなど比例付与対象者は、10労働日になってから対象。逆にいうと年休日数が10労働日でない場合は対象外。
- ② 基準日とは、例えば入社日が4月1日とした場合、10月1日であり、この基準日より1年以内の期間に与える義務がある。
- ③ 労働者が1労働日の年休を取得すると、その分だけ使用者の取得義務が免除される。半日単位で取得した場合は0.5日が免除されるが、時間単位年休を取得しても免除されない。
- ④ 年休の取得を確実にするために、事業主に年次有給休暇管理簿の備え付けと、3年間の保存が義務付けられた

★4月1日以降の「基準日」からが対象です！

- ・4月1日以降に発生する基準日から1年以内の取得が対象
- ・基準日は就業規則等で統一していない場合、従業員ごとに異なります
- ・基準日以前に取得した年次有給休暇はカウントされません

事業主がすべきこと

誰に	4月1日以降の基準日に年休が10労働日発生する従業員に
何を	そのうち年5日の年休を
どうするのか	基準日から1年以内に取得(消化)してもらう

※基準日については、左記ポイント②を参照

～社長さん、総務担当者のための知っておきたい人材採用～

「ハローワークを徹底活用しよう」



●ハローワーク3点セットプラス1の活用

項目	内容
画像登録	写真やパンフレットを登録する。文字だけの求人票に写真など画像を使い補完することができる
リクエスト	求職者へ自社の求人票を送付してもらう。特定の対象者を求人している場合に有効
掲示板	ハローワーク内の掲示板へ手作り求人チラシを掲載できる。実施していないハローワークもある。独自の基準があるため要確認
注目求人	労働条件をアップするとピックアップ求人として掲示してもらえる。実施していないハローワークもある。

※ハローワークにより利用にあたって独自の基準を設けているため、事前に利用方法を確認してください。

ハローワークではよい人材が得られない、そもそも応募者がこないなどと言われる方をお見受けすることがありますが、そのような方は、今一度、ハローワークの活用方法を見直してみられてはいかがでしょうか。

まず、求人票以外にハローワーク3点セット(と私は言います)を徹底活用しましょう。

ハローワーク3点セットとは、①ハローワークの端末でのみ見ることができる画像登録、②ハローワークから求人票を求職者へ送ってもらえるリクエスト機能、③ハローワークの掲示板へ手作り求人チラシをしてもらう、です。

①②は全国共通サービスなのですが、最後の③は、ハローワークにより実施していないところがありますので、管轄のハローワークで確認してください。

また、①の画像登録には、写真だけでなく、パンフレット等を掲載することもできます。JPEG形式であれば、なんでもOKですので、工夫次第で活用の幅が広がります。

一例として、社員教育に力を入れているのであれば、社員教育の様子を画像を掲載する、未経験者が対象であれば、一日の仕事の流れを掲載してみてもいいかもしれません。



チャレンジ！カンパニー訪問



村井石油株式会社

本店：尾道市因島土生町
2257-1
電話(0845)22-0742

★今月は尾道市因島でガソリンスタンドや海上給油を行っている村井石油株式会社さんを訪問。地元で愛される給油所を目指しイベントや情報発信を通じ積極的に交流を図っています。また「人づくり」にも力を入れ、定期的な社内研修を行うなど、常に切磋琢磨を心掛けるチャレンジカンパニーです。



●2店舗ある給油所のうちの1つ、中庄給油所は、村上水軍城入口の目の前にある



●定期的な研修を通じ、品質の維持向上をはかっている



●お客様の車を丁寧に扱うことが信頼の第一歩と語る村井専務

●取材を終えて

中庄店にある囲碁の問題は、因島が囲碁の町ということで、地域お越しに貢献するために設置されたそうです。囲碁が得意なスタッフの方が考え、問題は定期に入替え。お客さまや地元の方との交流のきっかけになっています。他にもフェイスブックで社長さん自ら情報発信をされたり、毎月、手書きのニュースレターを作り、配布されたりと、積極的に交流されている様子から地元を大事にされているカンパニーの姿勢が伝わってきました。



●今月のチャレンジインタビュー

お相手：専務取締役 村井一也さん 聞き役：妹尾 悟

妹尾：本日はよろしくお願いいたします。まず、会社の沿革を教えてくださいませんか。

村井：弊社は創業64年になります。現在、社長である父で2代目です。島にあるため船舶の海上給油で創業し、東京オリンピックを機に、車社会の波がやってくるとなったとき、現在のガソリンスタンドを始めました。

妹尾：事業の特徴を教えてくださいませんか？

村井：「キーパーコーティング」という洗車に力を入れています。弊社ではスクールに通い、試験に合格したスタッフが洗車をしますので品質には自信があります。また、品質を維持するため社内研修を行ったり、大会に出場し技術を磨いています。

妹尾：大会に出場されたときの結果はいかがですか？

村井：残念ながら決勝に残っても入賞することが少ないのですが、審査用のチェックリストがあるので、それを目標に練習することで、自分の技術を客観的に見ることができ、よい刺激になっています。

妹尾：ちょっと変わったイベントもされているのですね？

村井：はい。地元で人気のパン屋さん、店舗の前で販売をしてもらったり、ドコモショップの方に来てもらったりして、お客さまに喜んでいただき、出店していただいたお店の方も宣伝につながり、弊社としても来店のお機会を作ることができ、「三方よし」のイベントになっていると思います。

妹尾：素晴らしいことですね。今後の展望をお聞かせください。

村井：現在、「カルチャーブック」という会社の歴史や理念、行動方針をスタッフ全員で共有できるよう冊子の作成に取り組んでいます。人によりサービス内容にムラがないようにし、より一層お客様のお役に立ちたいと思っています。

また、そのカルチャーブックにも記載する予定ですが、当社では「人づくり」を重要な柱と考えています。そのため先のキーパーコーティングの社内研修の他に、月1回、小売業向けの社内研修を職層別に行っています。

その研修のなかで「お互いを知ることがまず第一歩」ということを学んだのですが、その翌日、早速、新入社員が他のスタッフへ呼びかけてプロフ(自己紹介文)を作成してくれたことには驚きました。

妹尾：それは嬉しいですね。村井石油さんでは、スタッフの方一人ひとりが自分の特性を活かし、職場で活躍されていらっしゃるように感じました。今後も益々のご発展を願っております。本日は、ありがとうございました。